

ナンバリング	授業科目名(科目の英文名)					区分・【新主題】/(分野)	授業形式					
E111C001	国語(小)(書写を含む。)(Japanese Language (elementary school))											
必修選択	単位	対象年次	学部	学期	曜・限	担当教員						
必修	2	1	教育学部 平成31年度以前入学生用			氏名 安道百合子・土肥安子・樋口将一 E-mail y-andou@oita-u.ac.jp 内線 7535						
授業の概要	日本語の音韻や文字の特徴を知り、「伝統的な言語文化」に関する基礎知識と、古典教材の読解や教材研究の基本的な手続きを習得する。また、「書写」に関する基礎知識と技術を、学習指導要領と照らし合わせながら、検定済みの教科書を用いた実践を通して理解・習得する。											
具体的な到達目標	DP等の対応(別表参照)						1 2 3 4 5 6 7 8 9 10					
目標1	伝統的な言語文化に関する基礎知識と古典教材の教材研究の方法を習得する。											
目標2	実践を通して国語教師に必要な書写に関する基礎知識と技術を習得し、活用できる。											
目標3	感じたこと、考えたことを300字程度の小考としてまとめることができる。											
目標4	子どもへの指導を念頭において小考を書くことができる。											
目標5	他教科等への応用を念頭において小考を書くことができる。											
目標6												
目標7												
目標8												
目標9												
目標10												
授業の内容												
1	国語教育における「伝統的言語文化」「書写」「作文」、授業運営方法の説明											
2	書写の基礎、姿勢と持ち方											
3	点画の組み立て											
4	漢字・仮名の特徴											
5	筆順と字形											
6	筆圧と運筆の速さ											
7	文字の配列											
8	筆記具の特徴と活用											
9	日本の文字											
10	ことばに敏感になる											
11	季節感											
12	見立て											
13	古典教材の読解(1)短歌・俳句											
14	古典教材の読解(2)古典の冒頭											
15	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項											
ラーニング目標	A:知識の定着・確認	毎授業後に、書写作品の提出または小レポートを課します。				工夫	その他の					
	B:意見の表現・交換											
	C:応用志向											
	D:知識の活用・創造											
時間外学習の内容と時間の目安	準備学修	授業時の予告に従い、予習する(30h)。										
	事後学修	授業内で扱った題材や関連する内容を、小学校の教科書や関連書籍で確認・復習する(30h)。										
教科書	光村図書・令和2年度小学校教科書 書写1～6年											
参考書	【国語編】『小学校学習指導要領(平成29年告示)解説』											
成績評価の方法及び評価割合	評価方法	割合	目標1	目標2	目標3	目標4	目標5	目標6	目標7	目標8	目標9	目標10
	レポート	50%										
	作品提出	50%										
注意事項												
備考												
リンク	URL											